

# 横浜自民党幹事長 かじむら充 横浜市長へ震災に強い都市「よこはま」を確立するための十の提言

～自助・共助を基本とし、効果的な公助により市民の生命・財産を守る～

## 提言 1、市民一人ひとりの防災意識の向上を図ること

- 市民防災憲章の制定（家具転倒防止、食糧・水等の備蓄、火元・電源オフの徹底、常用薬品の備蓄、徒歩帰宅ルートの確認、家族間の安否確認方法・避難場所の確認。）
- 防災意識向上のための啓発広報の拡充

## 提言 2、地域助け合いの仕組み構築により防災力の向上を図ること

- 要援護者（高齢者、障害者、透析患者等）情報の把握と支援の仕組みの構築
- 支援可能者（看護師、保健師等）情報と組織化
- 地域防災訓練の拡充
- 「災害時地域連携推進条例（仮称）」の制定（自民党議員団にて議員提案準備中）
- 自助・共助を強力に推進する為の「街の防災課（仮称）」の全区設置（再任用、嘱託を基本とした組織とする）

## 提言 3、災害時広報の充実を図ること

- 津波避難用同報無線の整備
- テレビ局との文字放送協定の締結
- ラジオ局との報道協定
- ヘリ広報の実施
- 公用車への拡声装置配備
- 自治会・町内会長宅へのファクシミリの無償貸与（受信情報を地域掲示板に提出）

## 提言 4、消防団等が安心して活動できる環境の整備と人員の拡充を図ること

- 負傷・死亡時保障など保険の充実
- 活動費助成の拡大
- 災害時の役割の明確化とPR
- 担い手の拡大

## 提言 5、安心して避難生活を送れるよう地域防災拠点の機能拡充を図ること

- 高齢者、乳幼児、女性に配慮した備蓄の充実
- 自家給油施設、非常電源設備の確保
- 炊き出しのためのLPG燃料の確保（学校等での平常時利用の実施）

## 提言 6、防災情報通信機能の充実を図ること

- 防災行政用無線の充実（アナログ無線機の改修）
- 主要幹部職員への衛星電話の配備
- 区災害対策本部代替施設等へのデジタル無線の配備

## 提言 7、区災害対策本部の機能強化を図ること

- 職員安否確認システムへの全職員の参加
- 職員の居住区への配置の拡大
- 区本部長の判断で物資や役務を調達できる仕組みの構築

## 提言 8、危機管理体制の強化を図ること

- 危機管理監の専任化
- 機器管理室への自衛隊関係者等の配置
- 市長・副市長に直結した全庁をより統括できる危機管理室への移行
- 災害対策を迅速に進めるための別枠予算の確保
- 公設消防力の強化（隊員の増員、車両の増強、物資輸送用ヘリの導入等）
- 現有体制で最大限力を発揮できる仕組みの構築

## 提言 9、仮設住宅建設場所等をあらかじめ明確に指定しておくこと

- 遺体安置所の指定と同施設への防腐シートの備蓄
- がれきの大規模仮置き場の指定と分別・収集運搬の手続きの明確化
- 仮設住宅建設場所の指定と事業推進体制及び発注方法の明確化

## 提言 10、交通渋滞緩和のため関係機関に働きかけること

- 踏切遮断時間を極力短くするための鉄道事業者、警察への働きかけ

みつる

# かじむら充の

## 震災対策の強化に向けた緊急提言



くじけず  
あきらめず。

ご案内

自民党泉区連合支部

平成24年 賀詞交歓会

日時 平成24年2月12日(日)午前 11 時より

場所 JAみなみ総合センター 4階  
横浜市泉区中田西2-1-1

会費 男性 3,000円 女性 2,500円 (当日会場にて承ります)

プロフィール

- 横浜市議員 (4期)
- こども青少年・教育委員会 常任委員長
- 自民党横浜支部連合会 幹事長

経 歴 / 国立群馬工業高等専門学校 卒業  
日本コロムビア、相鉄建設  
すが義偉(現衆議院議員)事務所長  
自民党横浜支部連合会 政務調査会長2期4年



QRコードを読み取り  
かじむら充ブログへ

- ◆ [かじむら充 Twitter](#) (日々つぶやいています)
- ◆ [ホームページ](http://www.m-kajimura.com) www.m-kajimura.com
- ◆ [ご意見をお寄せください](mailto:office@m-kajimura.com) E-mail:office@m-kajimura.com

自民党泉区第五支部

〒245-0013 横浜市泉区中田東3-16-1 オクツビル2F  
TEL.045-806-1051 FAX.045-806-1053

ご案内

第1回 かじむら充  
チャリティーゴルフ大会

平成24年5月16日(水)8時集合

小田急藤沢ゴルフ

ショットガンスタート

会費4,000円